園部共同作業所だより

園部共同作業所発行
〒６２２－００１１
船井郡園部町上木崎町入道３２
０７７１－６２－３２４９

ＮＯ４９

全国大会（京都大会）ご支援ありがとうございました

第三五回全国精神障害者家族大会並びに第五回世界精神障害者家族連盟ＷＦＳＡＤ世界大会を開催することが出来ましたのは、多くの団体、皆様のご支援のおかげです。有り難うございました。

各種の精神障害者に関する法制度の整備がなされ、その福祉も大きく前進しています。平成一四年度から市町村が手帳や通院医療公費申請への窓口となり、ホームヘルプやグループホームやショートステイ等の居住生活支援事業の具体的な改革が進められ、身近な問題を解決するためには偏見や差別等暗い影を残しているところもあります。

福祉行政は、市町村私達で格差があります。家族会はー家族のパワーが未来を拓くのもと全国の家族、関係者が本大会を通じて医療、保健、福祉の更なる向上と発展実現をめざし、道のりは大変ですが、頑張っていかねばなりません。

又、大会に船井郡の家族会、作業所の皆様にはそうめんの販売や募金でお世話になりました。町村会や船井郡の社協の方からも募金に協力して頂き大会を助けて頂き、最後になりましたが、有り難うございました。厚く御礼申し上げます。

第三五回全国精神障害者家族大会京都大会
会長　城島幹夫

タニやん

彼は御年三十二歳、ここでは一番の若手で通所歴は二年目、まだまだ新参者ですが仲間からは、「タニやん」と呼ばれすっかり馴染んでいます。“タニやん”とはいかにも“オッサン”くさい呼称で一面識もない人は、誰でもオジンの風貌」を想像されるでしょう。実は年齢よりずっと若く見かえるのです。なんだかわかりにくいニックネームの説明になりましたが、「タニやん」の通所は、朝ミーティングで弱いことを考慮して弁当持参の全日制まで段々時間・日数を増やしていきました。そして火・木曜の午後から始まりました。

ところが期待の星の「タニやん」は最近サッパリ元気がありません。最初の快進撃はどこへ行ったの、なんとか調子をとりもどして、と思う今日このごろなのであります。

所長　杉山俊夫

新任です　よろしく

六月、初夏の頃、園部共同作業所の方へ訪問させて頂き、まずは作業所そして、一部の方が入居されているというグループホームへと、案内して頂きました。

作業所では、数人の方がそれぞれの仕事を一生懸命・・・それぞれの仕事をグループホームは、きちんと整頓されているのが印象的でした。

そんな中、所長さんとのお話により、少しの不安はあったものの、当面は週二回だけという私の勝手な都合を聞いて頂き、お世話になりました。それから早半年も過ぎ、始めの頃は挨拶が精一杯でしたが、二回、三回と顔を合わせるごとに「お早うございます」と言うと「お早う」と返って来る声が、たくさん聞こえる様に思えます。

又作業所の仕事の種類はたくさんあり、季節によって仕事の量にもムラがあるとのことですが、作業の他に、お誕生会、日帰り旅行と皆さんとの交流の機会も増え、今では何とか名前も覚えられる様になり、少しずつですがなごやかな雰囲気になって来たのでは・・・と思っていますが何分にも未経験の仕事ということで、いろいろと行き届かないことばかりで、皆さんに迷惑をかけると思いますが、少しでもお役に立てればと考え、自分なりに頑張ってみようと、思う毎日です。

そして、十月からは職員としてお世話になっております。よろしくお願いいたします。

塩内文代

全国大会に参加して

石田寛子

実のところ斯うと言ったのは初めての大会に参加したのです。さぞかし難なく解講演ばかりで俄かに勉強も身にもつかないまま会場では全く埋まってしまいました。参加したのは、参加することに意義があるとの思いからでした。

さて大会式典、昼食、一時よりシンポジウム「家族のカンドのラダ・シャンカール博士の講演がありました。

博士が未来のパワーを拓く唯一のパワーは博士のカリスマ性にあるとの印象を残しました。

倒れてから十年、特に精神障害者の家族の一人として、この出席者の中で一番圧倒されたのは、富の差が大きいのかとの思いにかられました。

貧困社会の精神障害者が置かれている状況で、治療もさることながら、食べるものにも不自由し、捨てられる病人、悲惨な話ばかりで、何とかしなければと思いました。

日本は他の国より恵まれていると思っていましたが、医療等の援助をもっと求めなければと気づかされました。

先進国日本の経済、医療の発展途上国に私たちが出来ることがあるはずだと思います。

分科会では福島大・神経精神科の松本先生がブレインバンクを用いた研究の成果を発表されました。

統合失調症等の脳組織にタンパク質の異常が認められる事が分かってきて、それを調べる最先端の検査にプロテオミクスと云う方法があるそうです。

ところが医療技術として勝れているこの研究もサンプルの脳組織が充分で無い為伸び悩んでいるそうで、ブレインバンク＝脳組織提供への協力を強く呼びかけられました。

又統合失調症に依って投薬と自己管理に依って克服した方々の報告もあり自らがドナーとなってブレインバンクの啓蒙活動に携わって行きたいと思います。

大会に参加して精神障害者福祉は今や全世界的な問題であるとの思いを強くしました。

最後になりましたがこの大会の為に多大な労をとられた各方面の方々に心から感謝して厚くお礼申し上げます。

レクレーション・行事

一〇月二八日　ソフトボール大会
桜ヶ丘クイーンズと対戦、今回は二試合行い、四対二、四対一と二試合とも勝つことができました。

一〇月三〇日　日帰り旅行
若狭三方五湖めぐり、遊覧船乗船、レインボウラインドライブ

十一月七日　南丹看護学院学院祭
バザー出店

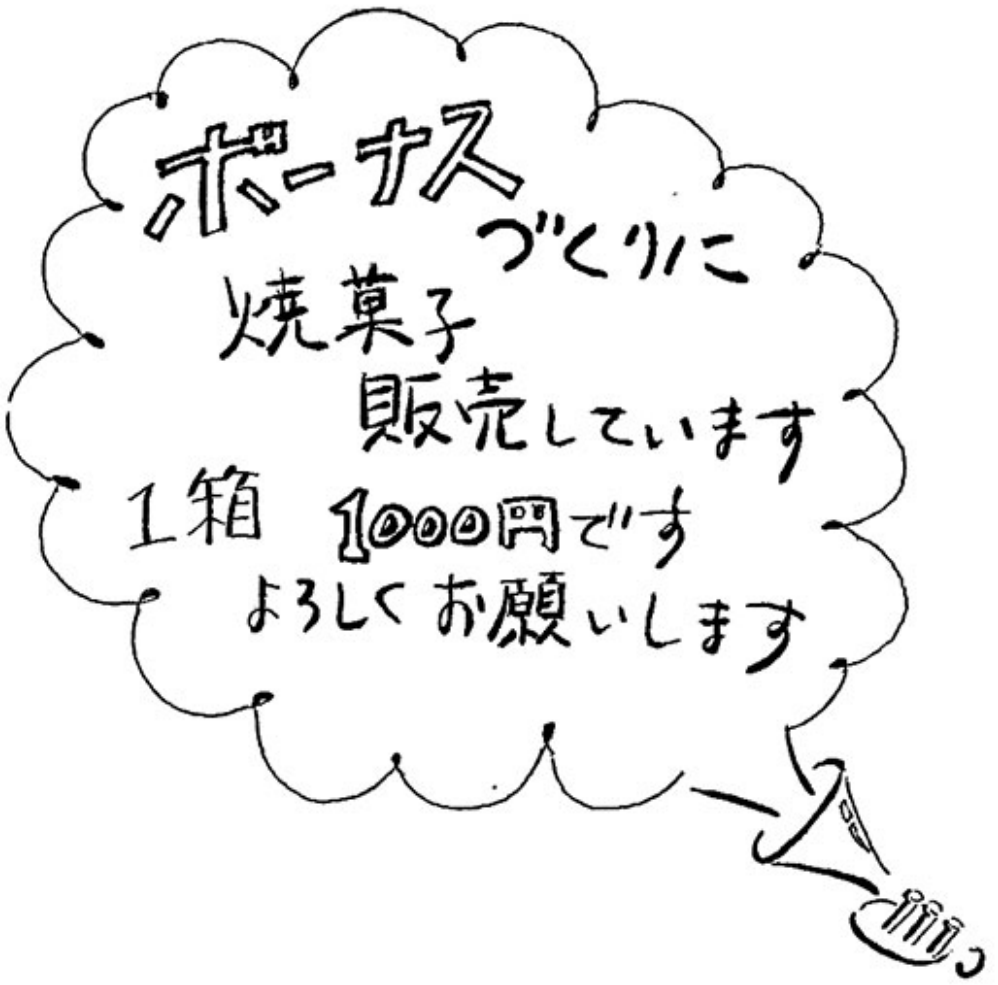
十一月八日　第七回精神障害者スポーツ大会参加

寄贈品（十一月十日現在）

城島幹雄様　菓子
野々口光子様　菓子
中川京子様　菓子

寄付金

公立南丹病院附属高等看護学院様



編集後記

暖冬といわれていたのに秋を通り越して冬が来た・・・。十一月九日の朝、屋根が雪で真っ白、大あわてでスノートーブを出しました。今年の冬はどうなることやら。皆様、体調には充分ご用心を。